

平成27年度 第2回 機能性食品・化粧品分科会のご案内

NPOバイオものづくり中部の会員企業、大学、試験研究機関等の産学官の関係者が講演内容を軸に意見交換をし、東海地区における機能性食品・化粧品の原材料・製品の研究開発および新製品開発に資するセミナーを開催します。

日 時：平成28年3月17日（木）13：30～

場 所：名古屋大学VBL（ベンチャービジネス・ラボラトリー3階ベンチャーホール）

（アクセス） <http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access.html>

主 催：NPOバイオものづくり中部（電話 052-203-2053）

内 容

13：30～

演題1「糖尿病の予防・抑制に関与する食品由来因子、
メカニズム研究から食品の価値創造へ」

中部大学応用生物学部食品栄養科学科 教授 津田 孝範 氏

○食品由来因子の生理機能とそのメカニズムを明らかにする基盤的な研究を通して、新たな食品の開発を目標にしている。特に糖尿病予防・抑制作用の標的として、AMP-activated protein Kinase の活性化、GPL-1分泌の促進など最近の研究成果を紹介し、お互いの接点を見つけ共同研究に繋がることを期待する。

14：30～

演題2「薬学における国内資源ルネサンス」

岐阜薬科大学 生薬学研究室 教授 大山 雅義 氏

○名古屋議定書後の創薬資源探索に関する取り組みを例示する。2014年秋、ついに世界50カ国から生物多様性条約が批准され、海外遺伝資源へのアクセスに産学ともに支障が生じ始めている。そのような時流において、自然豊かな我が国に生育する天然資源への回帰として国内資源を活用した研究について報告する。

15：20～ 休憩

15：30～

演題3「新たな機能性表示食品制度に対する太陽化学（株）の取り組み」

太陽化学株式会社 ニュートリション事業部 研究開発グループ
グループリーダー 小関 誠 氏

○平成27年4月1日に新たな機能性表示食品の制度が施行された。これまで、一般

の食品には機能性を謳うことができなかったが、この制度は好機であると捉え機能性表示食品制度へのアプローチを行った。新しい機能性表示食品の素材としてお茶のテアニンやカテキンについて機能性や届け出について紹介する。

16:30～

その他：経済産業省競争的資金等の紹介（中部経済産業局）

【申し込み先、連絡先】

NPOバイオものづくり中部 事務局 担当：上井

TEL&FAX：052-203-2053

E-mail：support@bioface.or.jp

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレスをご記入の上、3月10日までにE-mail：support@bioface.or.jpまでお申込みください。